

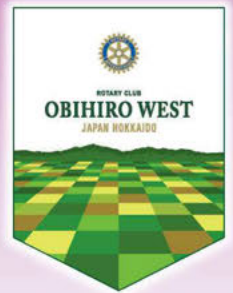


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2436回例会

# 会報

## 2023.6.22



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！  
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

**会長報告**

奥 敏則 会長

皆さんこんにちは。会長報告をいたします。

1年間皆様方には大変や世話になりました。例会も、残り2回となり、今日の退任挨拶と、次週の最終例会で終わります。今思えば、あっという間の1年間でしたが、いろんなことがあった1年でした。

そんな中、残念だったことが2つほどあります。

1つは、帯広北クラブの木戸会長の事です。彼とは、幹事が同期で、現場でも会い、ロータリーをいろいろと語り合う仲でした。そんな彼が、一緒に会長をするということで、電話をいただいたり、こちらから電話をしたりして、会長に向かう準備をどうしているのかなどを聞いたり、聞かれたり。しかし、会長エレクトから会長へとなる時に、体調が悪いから入院するというので、手術により第1回目から例会を暫く欠席しておりました。当初は、頸椎ヘルニアということをお聞きしていたのですが、良くならずじりじりと体も不自由になり、帯広西ロータリークラブの50周年の記念式典には、出席をしていただいたのですが、感謝状を受け取る時も、横に介添えをしてもらいながら受け取るという状態でした。その後ALS筋萎縮性側索硬化症ということで、難病だということが分かりました。今は、施設に入って、いろいろと訓練は受けているようですが、会話もできずに、胃ろうにもしたということです。面会はできませんが、意識ははっきりとしているということです。これから手紙でも書いて会長期が無事終わったよと報告をしたいという風に思っております。

それからもう一つ。奥田会員の事です。4月8日に亡くなりましたが、以前の例会でもお話をさせていただきましたが、永い仕事を通じてお世話になりましたし、ロータリーもほぼ同時に入会をさせていただきました、とても気が知れた中でしたので残念でした。おうちの方にも2度ほどお参りをさせていただきました。奥様からも、奥田さん本人も、奥様も、帯広西ロータリーや会員の皆様に大変お世話になりましたということで、お心遣いと奥様からお礼状を預かってまいりましたので、その文面を拝読して会長報告としたいと思います。なお、お心遣いは、青少年育英基金の方へいれさせていただきます。後ほど改めて、退任挨拶もさせていただきます。

お礼状 奥田 恭子

謹啓 先般夫奥田頼昌の葬儀に際しまして、帯広西ロータリークラブの皆様には過分なるご香料・ご供



花・ならびに心温まるお言葉を賜り、誠にありがとうございました。

夫が帯広西ロータリークラブへ入会したことにより、私も沢山の方々とお知り合いになり、その後のお付き合いに繋がりました。毎年の家族会も役員の方々のご尽力のおかげで、孫共々楽しませて頂きました。上垣様、河西様のおかげで「女愉会」にも入会させて頂き、楽しい時間を過ごさせて頂いたことも良い思い出となりました。孫も楽しんだ「クリスマス会」、じいじと参加した魚釣り、ピザ作り。思い起こせばロータリークラブの皆様のおかげで家族の思い出が沢山できました。奥田は、三月宮崎でのゴルフを楽しみにして、ゴルフバッグも自分で手配して郵送しました。残念ながら叶わなく、ゴルフバッグだけが現地の皆様の手をお借りして旅行してきました。

帯広西ロータリークラブの皆様との二十一年間良いお付き合いをさせて頂き、誠にありがとうございました。こよなく愛したお酒とゴルフ、そして皆様とのお付き合いを愛した人生でした。

皆様から賜りましたご芳志の一部を些少ではありますが、会長 奥敏則様を介して寄付し、故人の追悼のしるしとさせていただきます。

つたない文章ではありますが、皆様への感謝の気持ちを是非お伝えたく、筆を執りました。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。 謹白

以上で会長報告を終わります。

**会務報告**

森 房明 幹事

①帯広西RC、第4回クラブ協議会開催のご案内

日時 6月22日(木)午後6時30分

場所 ふく井ホテルバイプレーン

出席義務者

2022-23年度 役員・理事・委員長

(関係者にはご案内済です)

②帯広西RC、スポーツ大会・年度末最終夜間例会開催のご案内

◇スポーツ大会

～ゴルフ～

日時 6月29日(木)集合 午前8時30分  
(9:00スタート)

場所 帯広国際CC

～パークゴルフ～

日時 6月29日(木)集合 午前9時30分  
(10:00スタート)

場所 依田公園

俳句村コース・牧水の森コース



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸  
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033







んの話や、奨学金の話、奨学会の話、色々勉強して頂きましたので、思い出して頂くとわかると思うのですが、一回、彼に例会を持って頂きました。そういう事で来年は、素敵な米山の委員長になってもらえるのではないかと期待しております。そんな事で、皆様にはご迷惑をおかけしましたけれども、当クラブもまた新しい米山奨学生を迎える事になります。一生懸命お世話しながら、世界に向けて奉仕活動をしていきたいと思っております。毎回、例会にくる度に知らない顔が増えています。いいクラブだなと思っております、それだけ欠席が多いという事をお詫びしたいと思います。一年間、ありがとうございました。



#### 小谷 典之 直前会長

奥会長はじめ、三役、理事、委員長の皆さん一年間お疲れ様でした。来週からいよいよ始まる天野会長エレクトの健闘を祈念しております。

直前会長と言えば前年度1年間の肉体的、精神的ダメージを修復し、ロータリーの窓際族へと移行するべく一年なかもかもしれません。皆さんご存知の通り、ガバナーノミニーとして特に週末は帯広にいないという多忙な生活を強いられています。

明日から旭川で大友地区幹事と共に諮問委員会、土曜日は旭川モーニングクラブの30周年、日曜日は次年度の地区財団申請会議、そして来週7月1日はガバナーエレクトとして東京の新高輪プリンスでガバナー会、その翌週7月8日は紋別で諮問委員会とガバナー補佐会議と毎週予定が埋まっています。あと8ヶ月、3月3日はPETS、4月14日は地区研修協議会が我々帯広西クラブが主幹で開催しなければなりません。改めて皆さんのご協力をお願いします。

この後、三役の退任挨拶がありますが、昨年の上藤幹事は涙を流しながらの退任挨拶でした。あの涙は一年間の苦勞の証しです。森幹事が号泣しながら退任挨拶されることを祈念して、退任の挨拶とさせていただきます



#### 高田 晃一 副会長

就任時の挨拶ではとにもかくにもコロナ禍が終息しマスクのない普段の生活が迎える事を、と願ってお話しさせて頂きました。退任挨拶時には外の行事、飲食等も少しずつ緩和される事となりました。

また、副会長となり私自身のテーマとして「奥会長をできる限りのことをつくして支援する事」この一年を振り返り自問自答したところ自分の力不足が目立つばかりでした。

各委員会、委員長の行動力、発想力に感心するとともに西ロータリークラブ全会員の結束力に支えられて副会長の任務を終えることができました。野外での例会、50周年式典も無事に開催する事もできました。

最後になりますが、奥会長、河西副会長、森幹事にはいろいろな面でお世話になり勉強させて頂きましたことに深く感謝を込めて退任の挨拶とさせていただきます。



#### 河西 智子 副会長

奥会長にご指名を頂き、副会長として1年を過ごさせていただきました。その間皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

副会長としての私の1年の仕事は宴会の乾杯要員と締め、そしてゲスト入場の先導役がメインかと思うほどたくさん経験させていただきました。本来楽しいお酒の席は、乾杯や挨拶を充てられると、仕事の場と変化して緊張の場になりました。担当委員会の補佐としては、各委員会が会長方針のもと素晴らしい事業を行って下さいました。計画実行への流れもスピーディー、そして行動力溢れる方ばかりで、私は何も出来ずただ感動してみているだけでした。何もお力になれずに申し訳ありません。高田副会長とは、副会長同志色々話をさせて頂いたり、心が通った気が致します。共に副会長をさせていただき大変ありがたく思っています。

今年は重要な出来事が沢山ありました。50周年記念式典・事業、ガバナー輩出予定のクラブとしての行動や覚悟など重責を担ったクラブですが、奥会長がいつも穏やかに微笑みながら見守ってくれましたので、会員の皆さんそれぞれの思いで50周年後のクラブを思い描けたのではないのでしょうか。1年を通して奥会長と森幹事の怒った顔を見たことがありません。いつもニコニコとされていた。懐の深さに守られた1年だったと思います。

創立記念日、覚えていますか？大友会長年度の親睦委員会の時、越智さんに標語を作ったら？と言われ創立記念日を覚えるための語呂を創り創立記念例会で発表しました。「1972.2.24→苦難にニコリ西クラブ」これから色んな苦勞があるかと思いますが、苦勞も笑顔で向かっていけるクラブになればいいなと、いつも奥会長の微笑みと優しさ、森幹事のニコニコ笑顔で再確認した1年でした。皆様大変お世話になりました。



#### 奥 敏則 会長

先ずもって、会員の皆様方には、1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。来週の例会があと1回残っておりますが、何とか皆様方にご迷惑をおかけしながらも終われそうです。ここ三年程の会長が悩まされてきた、新型コロナウイルスの影響も受けずに、すべての例会を行うこともできそうです。コロナ禍の会長様方は、例会の開催の如何にも悩んでおりましたが、自分の時はその心配もなく良かったなと思っております。

また、皆さんから会長会長と持ち上げられて、何んとかなくむずむずする居心地の悪い気分でしたが、楽しい思い出も数多く作ることが出来ました。

話は変わりますが、私には、朝起きてから仕事に行くまでに習慣というルーティーンがあります。



ちょっと爺くさいですが、朝起きて顔を洗ったら、神棚に水を捧げて拍手を打ち、そして、仏様にお茶や水、お花の水を取り替えて、ご飯を炊いたときは、おりく膳をお供えます。これは、子供の頃からずっとです。父や母は、仕事が忙しく、遠くの現場になったりすると朝早くには出ていくためです。しかし、ときどき急な用事が出来たり、寝過ぎて朝礼などに間に合わなくなりそうになったりして、忘れることが偶にあります。そんな時に限って、良くないことがあります。車が雪山に突っ込んだり、財布を落としたり。会長のお話をいただいた時も、まさにルーティーンを忘れていた、そんな時でした。お話をいただいても、自分には会長などを熟すそんな能力もないですし、ましてや人前でお話をしたりすることは大っ嫌い、自分の性格としても、上に立つよりも、下から支える立場の方が力を発しやすかと思っていたものですから。

しかし断る理由を考えながらも、私の推薦人でありました宮野さんからは、事ある毎に入会できずに他界した父のことを思い出しながら「お父さんの分まで頑張りなさい。」と仰っていただきました。また、49歳の時に大病をして、少しは人生観が変わり、今こうして健康でいることのありがたみを感じ、何かお役に立てるのであればなんでも断らずにやろうと思っこと、当時は健在でした母親や従業員の後押しもあって、お引き受けをすることに決めました。

受けるにあたり当初、私の年度は、50周年記念事業がコロナの影響を受けて、延期することなど考えてもおりませんでしたので、帯広西ロータリークラブのただ新しい半世紀が始まることだけを考えると、少し新しいことに挑戦してみようと思ったものでした。しかし、少し背伸びをしてしまったことが各理事・委員長の皆さんに混乱を招き、大変苦勞をさせる結果となってしまったことには、大変申し訳なく思っています。

ただ、会員数も増え、これだけ大きくなり、二人目のガバナーを輩出する帯広西ロータリークラブにとっては、地区の先頭に立って、いろんな事業にも手をかけなければならないと思いますし、そういったクラブに成長したことを喜んでいただき、ここに西ロータリークラブありと思われるようにならなければならないと思っております。

さらに、会長になるまでは、こんなにロータリーのことを勉強したことはありませんでしたが、Zoomでの地区の委員会・RLIなどに参加させてもらって、いろいろな気づきもありました。何より帯広西ロータリークラブがほかのクラブから羨ましがれる存在になったこと、まだまだ伸びしろのあるクラブであることなどなど。これは、皆さんも自慢していいことだと思います。

そしてバトンは、天野エレクトにお渡ししますが、天野エレクトに限らず、飯田ノミニー・小谷ガバナーノミニーには、これから大変なご苦勞があると思いますが、皆さんや帯広西ロータリークラブを私も支える側の一員として、お手伝いをさせていただきます。

最後になりましたが、北海道ホテルの皆さん、事務局の三寺さん・山岸さん、クラブ会員の皆さん・委員長理事役員の方々の皆さん・河西副会長・高田副会長、そして全面的にバックアップをいただきました森幹事に感謝を申し上げて、退任の挨拶とさせていただきます。1年間大変お世話になりました。



## 森 房明 幹事

奥会長のクラブテーマは「新たな半世紀に向かって…RESTART」であり、理事・委員長の皆様方にはこれまで諸先輩方が築き上げてこられた帯広西ロータリークラブの良き伝統を引き継ぐとともに、RESTARTにふさわしい取り組みがなされました事に深く感謝申し上げます。

「チェンマイとの交流」「思うは招く・植松努氏ロケット教室」「高校生職業ガイダンス」「たいまつ宣言の見直し」「グローバル補助金のシミュレーション」といったテーマは、これからのクラブの歩みの新たな視点として、明確な指針を示していただきました。私の幹事就任挨拶でも触れさせていただきました「親睦に加えて未来のクラブの新たな魅力を想像する年」にさせていただいたと思っております。

私個人としては、創立50周年事業の幹事という大役を同時期に仰せつかり、身の丈以上の経験をさせていただきました。ただ、経験豊富でリーダーシップにたけた会員の方々にとっては、入会10年そこそこで浅学非才の私を見て、大変歯がゆく思っておられてご迷惑をおかけしたことに、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

クラブ内に目を転じてみると、新入会員の方々が自ら同期会を結成されて溶け込もうとされておられること。ゴルフ・銘酒会等の同好会に数多く参加いただいていること。これらのことから当クラブの伝統である「会員同士の仲の良さ」が、確実に引き継がれています。本年度は6名の方が入会され、次年度以降もこの勢いは継続されていきそうな雰囲気があり、新たな出会いに期待大です。

直近3年間はコロナに影響されて大変なクラブ運営を迫られた年でした。それに引き換え今年度は、全46回すべてをリアルで開催することができましたことは大変幸運なことであると同時にご理解ご協力をいただきました会員の皆様にご感謝申し上げます。

最後に何より、私に対して深くご理解を賜り、温かく包んでいただいた奥会長に深く感謝申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

一年間会員の皆様にご支援・五経を賜りまして、誠にありがとうございました。